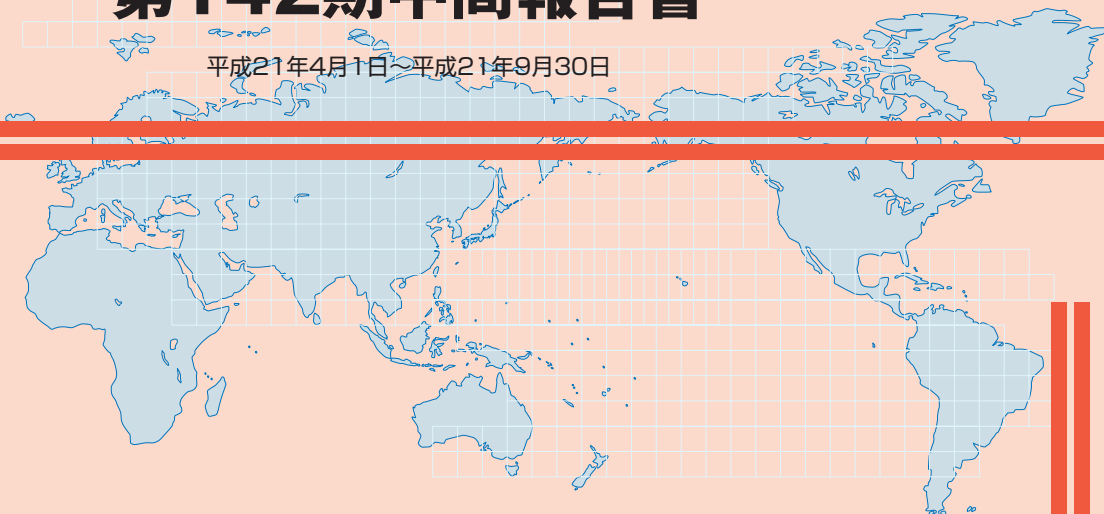


YASDA

第142期中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



安田倉庫株式会社

(証券コード：9324)

株主の皆様へ	1
ハイライト情報（連結）	2
事業の概況（連結）	3
トピックス	5
連結財務諸表	6
株式の状況	8
会社の概況	9

株主メモ

株主の皆様へ



取締役社長

宮本 憲史

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

第142期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、昨秋以降の米金融市場発の混乱が世界中に伝播し深刻化したことによる経済危機、同時不況の影響が依然として支配しており、引き続き厳しい状況にありました。

日本国内においても、アジア向け輸出の増加が一定程度認められる等景気は持ち直しの気配もあるものの、世界景気のさらなる下振れ懸念等が強いなかで、企業の設備投資計画や雇用情勢は好転の兆しが見えず、不透明感の強い状況が続いております。

このような厳しい経済情勢のもとではありますが、当社グループは、中期経営計画「プラン3C」のもと、経済環境や物流業界における様々な変化（Change）に対応するため、新たな安田ブランドの創造（Creation）と顧客満足（CS）のさらなる向上を目指し、業容拡大と経営品質向上に向けた営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益、営業利益、経常利益ともに、前年を下回ることとなりましたが、計画対比では、営業収益が若干下回ったものの概ね予定どおりの結果となりました。

当社といたしましては、このような状況を勘案し、当期の中間配当を前期と同様の1株につき7円とさせていただきます。

第142期は中期経営計画「プラン3C」の最終事業年度にあたります。

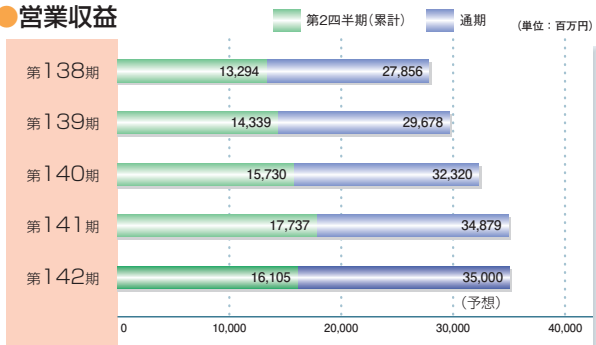
「サプライチェーンを支えるすぐれた物流企業」という安田ブランドを確立するため、P（提案）・D（実行）・C（確認）・A（改善）のサイクルを磨き、顧客満足度をさらに向上させ、企業価値を一層高め、株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、引き続き宜しくお願い申し上げます。

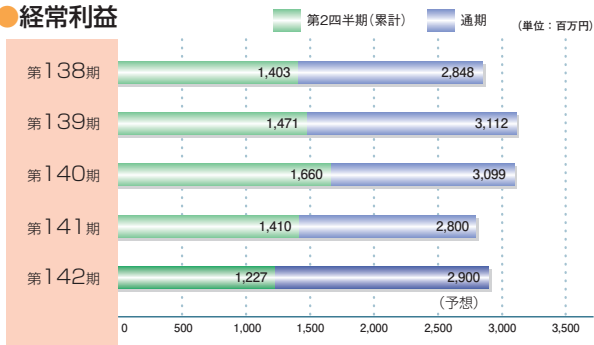
平成21年12月

ハイライト情報 (連結)

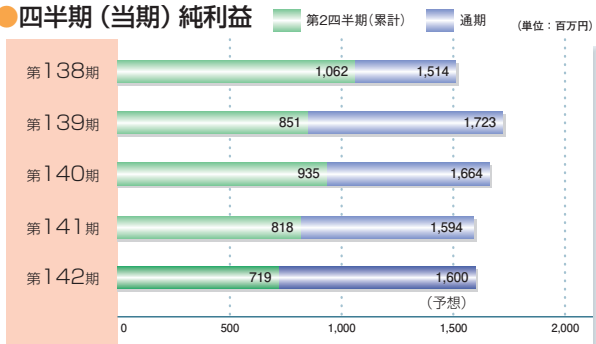
● 営業収益



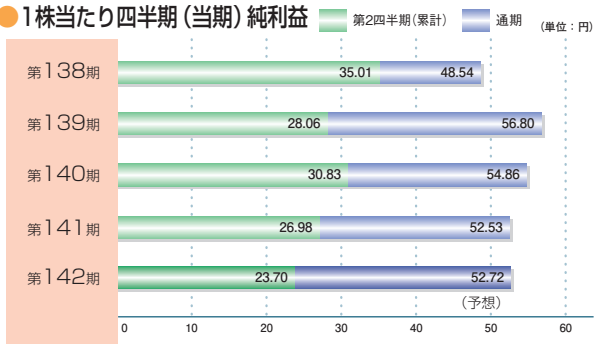
● 経常利益



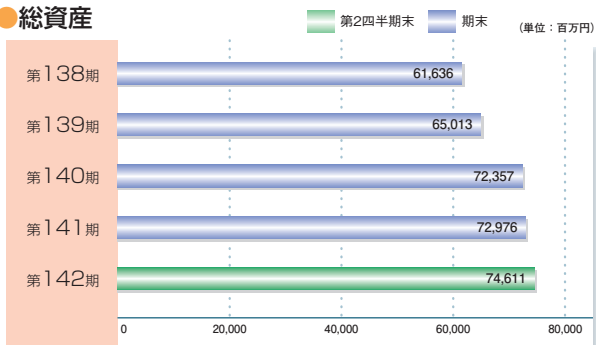
● 四半期(当期)純利益



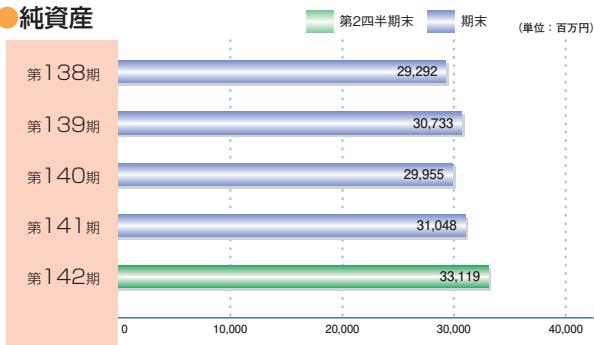
● 1株当たり四半期(当期)純利益



● 総資産



● 純資産



※第138期については、資本合計を記載しております。

※上記に記載した予想数値は、平成21年11月5日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

※「第2四半期(累計)」の表記は、第140期以前においては、「中間」を示しております。

当第2四半期の概況

(1) 全般の概況

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益が大幅に減少を続けるなかで設備投資が低迷し雇用情勢が一段と悪化するなど、厳しい状況で推移しました。

倉庫物流業界では在庫高及び保管残高とも前年同期を下回り、また不動産業界ではオフィス空室率が増加傾向を辿るなど、当社グループの事業環境も明るさの見えない状況となりました。

このような環境のなかで当社グループは、物流事業部門ではお客様の物流アウトソーシングニーズを積極的に開拓する営業を展開し収益増加に努め、不動産事業部門では既存施設の高稼働率維持に努めました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下に記載のとおり物流事業部門及び不動産事業部門ともに前年同期比で減収減益となり、営業収益は前年同期比1,632百万円減（9.2%減）の16,105百万円、営業利益は前年同期比167百万円減（11.2%減）の1,332百万円、経常利益は前年同期比183百万円減（13.0%減）の1,227百万円、四半期純利益は前年同期比99百万円減（12.1%減）の719百万円となりました。計画対比では、営業収益が若干下回ったものの概ね予定どおりの推移となっております。

(2) セグメント別の概況

（物流事業）

物流事業部門では、前連結会計年度に稼働を開始した加須第二営業所（埼玉県）、大阪営業所（大阪府）及び新山下営業所（神奈川県）が収益増加に寄与しました。一方で景気が冷え込むなかで既存のお客様の取扱が減少し、国際貨物取扱料や陸運料を中心に減収を余儀なくされました。その結果、セグメントの営業収益は前年同期比1,486百万円減（10.0%減）の13,316百万円、営業利益は前年同期比190百万円減（13.6%減）の1,208百万円となりました。



〈加須第二営業所外観〉



〈大阪営業所外観〉



〈新山下営業所外観〉

（不動産事業）

不動産事業部門では、一部テナントの退居による賃貸施設の空室解消に時間を要し賃貸料収益が前年同期に比べ減少するとともに、工事受注に係わる収益が減少しました。その結果、セグメントの営業収益は前年同期比154百万円減（5.0%減）の2,952百万円、営業利益は前年同期比69百万円減（6.0%減）の1,090百万円となりました。



〈ラビスタ函館ベイ外観〉

通期の見通し

当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、営業収益が計画を若干下回るものの、営業利益・経常利益・四半期純利益はほぼ計画どおり推移しております。

一方、今後の経済見通しについては雇用情勢の一層の悪化など景気を下押しするリスクが懸念されます。

このような環境のもと当社グループは、物流事業部門では、既存のお客様の取扱が伸び悩むなか、当社グループの資源を適切に組み合わせ提供しお客様の業務効率化を支援することで、収益の増大を図ります。またアジアを中心とした海外経済の回復に対応して国際貨物取扱の拡大に努めます。不動産事業部門では、施設毎の特徴に応じたテナント誘致活動を行い稼働率の向上に努め、収益の増大を図ります。

当社グループの通期の業績見通しについては、当社第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案してハイライト情報（2頁）のとおりとしております。平成21年8月6日発表の内容は変更してありません。

1. 安田倉庫（ベトナム）設立

平成21年8月3日現地法人として安田倉庫（ベトナム）：YASUDA LOGISTICS(VIETNAM)CO.,LTD.を設立し、9月1日より営業を開始いたしました。

これは、平成19年2月に開設したハノイ駐在員事務所における現地の情報収集、本社及び当社海外拠点との連携による東南アジア諸国の物流市場の調査、開拓機能に加え、「チャイナ+1」の受け皿として日系企業の進出が活発な地域であります同地区に新たに高品質な物流サービスを提供することを目的としております。

当社の海外業務は、中国上海での現地法人設立から10年を経過しました。海外拠点の営業拡大をさらに加速するため、安田倉儲（上海）有限公司、安田中倉国際貨運代理（上海）有限公司に次ぐ第三の拠点として、安田倉庫（ベトナム）を設立し、現地でのフォーワーディング、NVOCC（Non Vessel Operating Common Carrier）、通関、国内輸送等の物流業務を積極的に展開してまいります。



〈ベトナム事務所内〉

2. AED（自動体外式除細動器）の設置

平成21年4月、本社及び各倉庫営業所におきまして、心臓発作等の緊急時の職場での有効な対応策としてAED

（自動体外式除細動器）を設置いたしました。

AEDとは、心臓が痙攣して血液を流すポンプ機能を失った状態において、心臓に電気ショックを与え、心臓の動きをより正常に近い状態にもどす医療機器です。

設置後、当社営業所のお客様（テナント）の従業員の方が突然心肺停止となり救急搬送されました。この際に居合わせた当社関係会社職員等がAED処置と人工呼吸及び心臓マッサージ等の適切な初期対応を行った結果、お客様は搬送先での手術、低温治療等を経て、その後、無事退院されました。導入したばかりのAEDが、救助活動の一助となりました。



〈AED〉

3. 当社ホームページのリニューアル

当社ホームページのリクルート用サイトを、10月にリニューアルオープンいたしました。より見やすく、より使いやすくなった当社ホームページを是非、一度ご覧下さい。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成21年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	7,278	8,128
現金及び預金	2,752	3,495
受取手形及び営業未収金	3,961	4,050
繰延税金資産	300	332
その他	273	257
貸倒引当金	△8	△8
固定資産	67,333	64,847
(有形固定資産)	(52,907)	(52,771)
建物及び構築物	33,083	33,310
機械装置及び運搬具	791	860
工具、器具及び備品	549	601
土地	18,469	17,998
建設仮勘定	12	0
(無形固定資産)	(1,599)	(1,738)
借地権	737	737
その他	862	1,000
(投資その他の資産)	(12,826)	(10,338)
投資有価証券	10,794	8,207
繰延税金資産	472	490
その他	1,609	1,688
貸倒引当金	△49	△48
資産合計	74,611	72,976

科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成21年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	15,628	15,768
営業未払金	1,783	1,988
短期借入金	4,637	4,575
1年内返済予定の長期借入金	7,029	6,834
未払法人税等	426	549
未払費用	749	744
その他	1,003	1,075
固定負債	25,864	26,159
長期借入金	16,387	17,631
繰延税金負債	3,123	2,072
退職給付引当金	1,612	1,675
長期預り敷金保証金	4,266	4,259
その他	474	520
負債合計	41,492	41,928
(純資産の部)		
株主資本	28,306	27,799
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,790	2,790
利益剰余金	21,919	21,412
自己株式	△5	△5
評価・換算差額等	4,668	3,112
その他有価証券評価差額金	4,677	3,126
為替換算調整勘定	△8	△14
少数株主持分	143	135
純資産合計	33,119	31,048
負債・純資産合計	74,611	72,976

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (累計)	前第2四半期 (累計)
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業収益	16,105	17,737
保管料	2,977	2,916
倉庫作業料	2,468	2,619
陸運料	4,038	4,356
国際貨物取扱料	2,291	3,042
物流賃料	805	814
不動産賃貸料	2,381	2,480
その他	1,140	1,506
営業原価	13,425	14,776
作業費	6,389	7,376
人件費	2,739	2,802
賃借料	844	907
租税公課	427	376
減価償却費	1,214	1,164
その他	1,809	2,149
営業総利益	2,679	2,961
販売費及び一般管理費	1,347	1,461
営業利益	1,332	1,499
営業外収益	122	143
営業外費用	226	232
経常利益	1,227	1,410
特別利益	62	1
固定資産売却益	0	1
退職給付制度改定益	61	—
特別損失	25	29
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	14	8
投資有価証券評価損	8	21
貸倒引当金繰入額	1	—
税金等調整前四半期純利益	1,264	1,382
法人税、住民税及び事業税	472	437
法人税等調整額	65	119
少数株主利益	6	6
四半期純利益	719	818

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

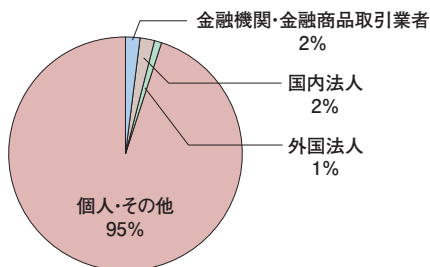
科 目	当第2四半期 (累計)	前第2四半期 (累計)
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,693	1,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,237	△1,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,204	△556
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△743	△155
現金及び現金同等物の期首残高	3,485	2,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,742	2,456

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

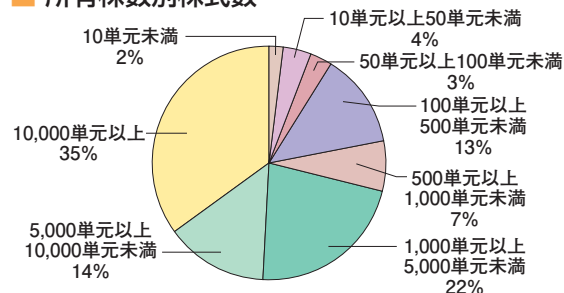
■ 発行可能株式総数	1億1,850万株
■ 発行済株式の総数	3,036万株
■ 株主数	4,423名
■ 大株主	

株主名	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
株式会社損害保険ジャパン	2,406	7.92
明治安田生命保険相互会社	1,604	5.28
東京海上日動火災保険株式会社	1,604	5.28
東京建物株式会社	1,603	5.27
株式会社みずほコーポレート銀行	1,253	4.12
大成建設株式会社	1,252	4.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,068	3.51
安田不動産株式会社	1,020	3.36
株式会社中央倉庫	982	3.23
安田倉庫従業員持株会	504	1.66

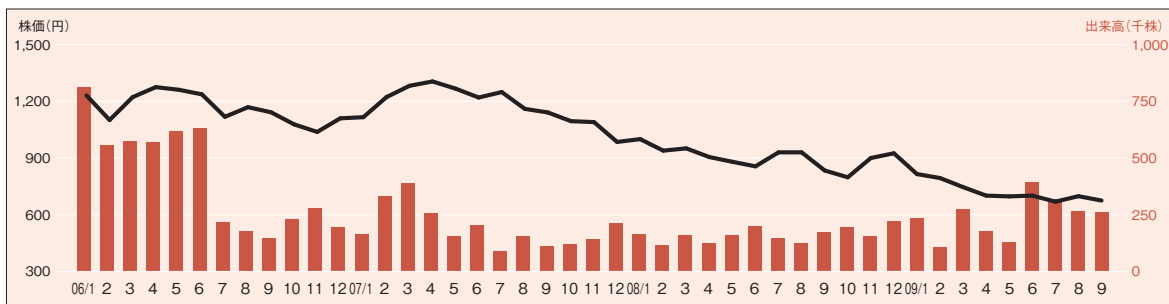
所有者別株主数



所有株数別株式数



チャート表示 (平成18年1月1日~平成21年9月30日)



- 商 号 安田倉庫株式会社
- 創 立 1919年12月20日 (大正8年)
- 資 本 金 36億210万円
- 本 店 東京都港区海岸三丁目3番8号

1. 当社グループの主要な事業内容

物 流 事 業	倉庫業、貨物利用運送事業（自動車、外航海運、航空）、貨物運送事業（自動車）、通関業、港湾運送事業
不 動 産 事 業	不動産業（ビル、土地、駐車場等の開発、賃貸借、売買、仲介、管理）

2. 当社グループの従業員の状況

連結従業員数 852名 (内、安田倉庫従業員数 332名)

3. 当社グループの主要拠点

●当社

名 称	所在地	名 称	所在地
本 店	東京都港区	大 黒 営 業 所	神奈川県横浜市
芝 浦 営 業 所	東京都港区	大黒流通センター	神奈川県横浜市
平和島営業所	東京都大田区	新山下営業所	神奈川県横浜市
板 橋 営 業 所	東京都板橋区	東扇島営業所	神奈川県川崎市
大 井 営 業 所	東京都大田区	厚 木 営 業 所	神奈川県伊勢原市
大井埠頭営業所	東京都大田区	北 大 阪 営 業 所	大阪府茨木市
八王子営業所	東京都昭島市	大 阪 営 業 所	大阪府大阪市
加 須 営 業 所	埼玉県加須市	システム流通センター	東京都港区
加須第二営業所	埼玉県加須市	国際輸送センター	東京都港区
柏 営 業 所	千葉県柏市	北京駐在員事務所	中国北京
守 屋 町 営 業 所	神奈川県横浜市	香港駐在員事務所	中国香港
本 牧 営 業 所	神奈川県横浜市	ハノイ駐在員事務所	ベトナムハノイ

●子会社

会社名	所在地
株式会社ヤスタワークス	東京都港区
北海安田倉庫株式会社	北海道札幌市
安田運輸株式会社	神奈川県横浜市
芙蓉エアカーゴ株式会社	東京都中央区
日本ビジネス ロジスティクス株式会社	東京都港区
安田倉儲（上海）有限公司	中国上海
安田中倉国際貨運代理（上海）有限公司	中国上海
YASUDA LOGISTICS (VIETNAM) CO., LTD.	ベトナムハノイ
株式会社安田ビル	神奈川県横浜市
株式会社安田エステートサービス	東京都港区

4. 当社の取締役及び監査役

取 締 役 会 長 (代表取締役)	田 中	稔	取 締 役	小 坂	大 樹
取 締 役 社 長 (代表取締役)	宮 本	憲 史	取 締 役	大 内	雅 史
専 務 取 締 役 (代表取締役)	蟹 澤	修 一	取 締 役	高 間	一 人
常 務 取 締 役	藤 田	久 行	取 締 役	櫛 引	治 男
常 務 取 締 役	千 葉	禎 美	監 査 役 (常勤)	菅	藤 男
常 務 取 締 役	高 丸	博	監 査 役 (常勤)	中 塚	一 郎
常 務 取 締 役	松 下	陽 一	監 査 役	田 中	敏 男
常 務 取 締 役	高 橋	幹 夫	監 査 役	小 村	武 昭
取 締 役	長 嶋	哲 夫	監 査 役	坂 田	頼 昭
取 締 役	永 野	明 宏			

(注) 監査役 田中敏男、小村武、坂田頼昭の各氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会については、3月31日
その他、必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。

期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人
特別口座 口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(郵便物送付先)
電話お問い合わせ先

〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

特別口座 口座管理機関
の事務取扱所

みずほ信託銀行株式会社
本店及び全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店及び全国各支店

公告方法 電子公告とし、当社ホームページ
<http://www.yasuda-soko.co.jp/ir/index.html>
に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

安田倉庫株式会社

本店：〒108-8435 東京都港区海岸三丁目3番8号
TEL.03-3452-7311 (代表) FAX.03-3453-9786
(証券コード：9324)

当社ホームページアドレス <http://www.yasuda-soko.co.jp/>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9324

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



地球環境に配慮した大豆油インクを使用しています